

[illegible]

What is claimed is:

## 運動状態モニタ装置

1. 運動動作を検出する運動動作センサーと、この運動動作センサーの出力を記録する記録手段を備えた運動状態モニター装置において、予め登録した本人であることを確認する本人確認処理が行われる場合は、当該本人が正しく認識された場合のみ、当該運動動作センサーの出力を有効な出力として当該記録手段に記録するように構成したことを特徴とする運動状態モニター装置。

2. 前記本人確認処理は抜き打ち的に行われることを特徴とする請求項1記載の運動状態モニター装置。

3. 前記本人確認処理は運動が検出されない時間が一定期間続いた直後に毎回当該本人により行われることを特徴とする請求項1記載の運動状態モニター装置。

4. 前記本人確認処理が、予め登録した特定の質問に対して、予め登録した正しい回答を入力することにより行われることを特徴とする請求項1記載の運動状態モニター装置。

5. 前記特定の質問は、当該モニター装置内に複数個登録されており、その中からランダムに選択された一つまたは複数の質問であることを特徴とする請求項4記載の運動状態モニター装置。

6. 前記特定の質問は、運動動作が検出されない時間が一定期間続いた直後に、抜き打ち的に行われることを特徴とする請求項4記載の運動状態モニター装置。

7. 前記質問が電話による質問、または当該運動状態モニター装置に予め内蔵されている質問であることを特徴とする請求項4記載の運動状態モニター装置。

8. 前記特定の質問に対する前記予め登録した正しい回答が、本装置を使用する特定人のみが知り得る回答であることを特徴とする請求項4記載の運動状態モニター装置。

9. 前記本人確認が、前記特定人の生体情報により確認するように構成したことを特徴とする請求項1記載の運動状態モニター装置。

10. 前記生体情報が指紋または声紋であることを特徴とする請求項9記載の運動状態モニター装置。

11. 前記本人確認にさらに、当該運動状態モニター装置を前記特定人が現に装着していることを確認する装着確認がされた場合のみ、当該運動センサーの出力を有効な出力として当該記録手段に記録するように構成したことを特徴とする請求項1記載の運動状態モニター装置。

12. 前記装着確認が、前記特定人が当該運動状態モニター装置を身体に装着していなければ感知できない指示に基づいて行われることを特徴とする請求項1記載の運動状態モニター装置。

13. 前記身体に装着していなければ感知できない指示は、前記特定人の身体を振動させることにより行われることを特徴とする請求項12記載の運動状態モニター装置。

14. 前記装着確認が、当該運動状態モニター装置の身体装着時の運動でのみ検出できる特徴的な前記運動動作センサーの出力で行われることを特徴と

する請求項 1 1 記載の運動状態モニター装置。

15. 前記運動動作センサーが歩行時の動作を検知できるセンサーであり、その歩行時の特徴的な運動で前記装着確認が行われる歩行計内蔵したことを特徴とする請求項14記載の運動状態モニター装置。

16. 前記装着確認が、当該運動状態モニター装置の身体装着時のみに感知できる生体情報と前記運動動作センサーの出力が高い相関性を持つことで行われることを特徴とする請求項11記載の運動状態モニター装置。

17. 前記当該運動状態モニター装置の身体装着時のみに感知できる生体情報が内蔵する運動指示音のリズムであり、当該リズムと前記運動動作センサーの出力である身体の脈派とが、高い相関性を持つか否かで前記装着確認が行われることを特徴とする請求項16記載の運動状態モニター装置。

18. 前記装着確認が、当該運動状態モニター装置の身体装着時のみに感知できる加速度情報と前記運動動作センサーの出力が高い相関性を持つことで行われることを特徴とする請求項1記載の運動状態モニター装置。

19. 前記当該運動状態モニター装置の身体装着時のみに感知できる加速度情報が内蔵する運動指示音のリズムであり、当該リズムと前記運動動作センサーの出力である身体の加速度とが、高い相関性を持つか否かで前記装着確認が行われることを特徴とする請求項18記載の運動状態モニター装置。

## 保険料管理システム

20. 保険会社が、基準に合致したの身体的運動実績が認められた被保険者に一定の利便性を供与し、一方では被保険者の当該身体的運動実績により医療費を抑制する保険料管理システムであって、当該身体的運動実績が、運動動作を検出する運動動作センサーと、この運動動作センサーの出力を記録する記録手

段を備えた運動状態モニター装置で測定され、予め登録した被保険者であることを確認する本人確認処理が行われる場合は、当該被保険者が正しく認識された場合のみ、当該運動動作センサーの出力を有効な出力として当該記録手段に記録するように構成した運動状態モニター装置を用いて、当該身体的運動実績が認められることを特徴とする保険料管理システム。

21. 被保険者供与される前記利便性が、保険料割引であることを特徴とする請求項20記載の保険料管理システム。

22. 前記本人確認にさらに、当該運動状態モニター装置を前記特定人が現に装着していることを確認する装着確認がされた場合のみ、当該運動センサーの出力を有効な出力として当該記録手段に記録するように構成した運動状態モニター装置を用いることを特徴とする請求項20記載の保険料管理システム。

２３．前記保険料割引が前記医療費の抑制価値以下であることを特徴とする請求項２１記載の保険料管理システム。

24. 健康指導会社が、前記身体的運動実績を前記保険会社へ提供し、かつ当該身体的運動実績提供による前記保険料割引額と前記医療費の抑制価値との差額以内の情報化価値を生成することを特徴とする請求項2記載の保険料管理システム。

25. 前記健康指導会社が、さらに前記被保険者に対して健康指導を行うことを特徴とする請求項22記載の保険料管理システム。